

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：(2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【2】新技術の活用】

鋼管ソイルセメント杭工法採用によりコスト縮減

工事名：圏央道東高架橋下部その1工事

概要：(従来) 場所打ち杭工法 (新) 鋼管ソイルセメント杭工法

効果

セメントミルクと鋼管による合成杭のため、支持力特性に優れ、杭径の縮小（杭本数の減少）及びフーチングの縮小・建設発生土の低減により、コスト縮減となる。

環境の負荷低減（鋼管を回転圧入する工法であるため、騒音及び振動が低減できる）。

工事費を、342百万円から296百万円に縮減。

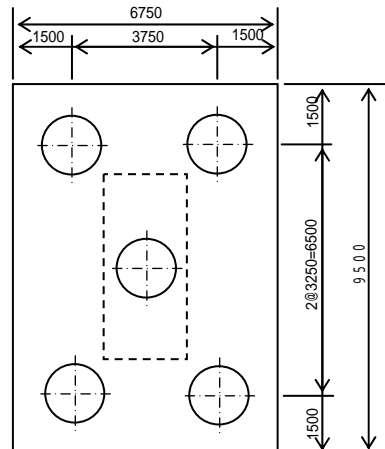
（縮減額 45百万円、縮減率 約13%）

場所打ち杭の施工



施工例

基礎寸法

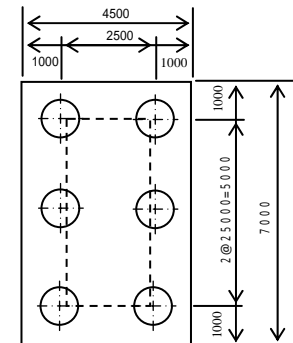


鋼管ソイルセメント杭の施工



施工例

基礎寸法



杭径の縮小・建設発生土の低減 によりコスト縮減